

地域協議会だより

Vol. 19 (2016年9月1日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
 長野市大字南長野字宮東 452-1
 長野県土地改良会館別館 3階
 会長 赤羽 昭彦



Y 初秋の候

さわやかな季節となりましたが、皆様におかれましては農作業等でご多忙のほどお喜び申し上げます。

さて、今回の協議会だよりでは7月に行われた平成 28 年度新規活動組織対象の事務研修会の報告と、中野市の「桜沢地区農地・水保全委員会」と諏訪市の「豊田第三地区活動組織」のご紹介をします。



Y 事務研修会

平成 28 年度から多面的機能支払事業を始める新規の活動組織と市町村の皆様を支援するため、以下のとおり、事務研修会を開催しました。43 活動組織 72 人、19 市町村 21 人、10 地方事務所 11 人、計 104 人の皆様に参加していただきました。

月日	会場	午前	活動組織		市町村		地方事務所	計
		午後	組織数	人数①	市町村等	人数②	人数③	①+②+③
7/25(月)	佐久市	午後	8	13	4	4	2	19
7/28(木)	伊那市	午前	8	14	3	3	4	21
〃	松本市	午後	11	20	3	5	2	27
7/29(金)	長野市	午後	16	25	9	9	3	37
計	4会場		43	72	19	21	11	104

■研修会の内容〔説明者〕

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 長野県の多面的機能支払交付金の現状と課題 | 〔県庁農地整備課:武田担当係長〕 |
| 2. 事業の概要 | 〔県庁農地整備課:武田担当係長〕 |
| 3. 活動計画書の内容確認 | 〔県庁農地整備課:小坂橋主任〕 |
| 4. 交付金の申請から報告まで | 〔県庁農地整備課:小坂橋主任〕 |
| 5. 施設の点検診断と長寿命化のための活動の進め方 | 〔協議会:坂田指導員〕 |
| 6. 質疑応答 | |



7/25(月)佐久地方事務所



7/28(木)上伊那地方事務所



7/28(木)松本地方事務所



7/29(金)長野土地改良会館

ご多忙のなか多くの活動組織の皆様に参加していただき、誠にありがとうございました。

平成 25 年度以前から活動を続けている組織の皆様については、8月下旬から研修会を行なっております。詳しい日程については市町村を通じて通知しておりますが、協議会 HP のトピックス「研修会」にも掲載しております。

Y 中野市「桜沢地区農地・水保全委員会」

中野市南部に位置する当地域は、山が浅く水が不足しがちな地域であるため、小布施町から流れる雁田用水と真引川からポンプで汲み上げて農業用水として使用しています。

多面的機能支払交付金を活用して、揚水機場の整備や、スコップで取りきれない排水路の泥上げを行い、地域の農業に役立てています。



ポンプ小屋

「桜沢地区農地・水保全委員会」

・東部山地南部の傾斜地と延徳沖低地に位置し、農地は堤防に囲まれた低い土地で、かつては内水氾濫していたが、1978年の篠井川排水機場の整備により殆ど水害は起こらなくなった。今では良質な米を主体に生産する地区となっている。

取組面積 : 19.2ha (田: 16.84ha 畑 2.36ha)

資源量 : 開水路 9.2km パイプライン 1.0km

主な構成員 : 農業者、自治会、各種団体

交付金 : 約 91 万円 (H28 予定)

農地維持
資源向上活動(共同)

地域協議会だより



揚水機場の泥上げ



重機による開水路の泥上げ

年に1回、農業者、非農業者を対象にした地域の歴史と自然について学ぶ「メダカの学校」を開いて、地域資源の保全管理と環境保全活動に役立っています。今年8月7日の「第5回メダカの学校」では、桜沢地域の水資源と地域に生息する外来種について学習しました。



8/7(日)「第5回メダカの学校」の様子



真引川で藻・メダカ・タナゴの学習

Y 諏訪市「豊田第三地区活動組織」

諏訪湖の南側に位置する当地域は、一級河川の新川を取水源とした水田地域であり、昭和30年代の土地改良事業で、区画整理、農道整備、用排水路の整備などが行われましたが、近年、用排水路などの老朽化による破損箇所が目立ち始めました。

そこで、当組織は、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策事業によりスタートし、農業用水利施設の更新・整備、そして地域一体となった維持管理を行っています。

「豊田第三地区活動組織」

- ・取組面積 : 54.5ha(田:49.32ha 畑:5.18ha)
- 資源量 : 開水路 18.4 km 農道 7.4 km
- 主な構成員: 農業者、自治会・PTA 等
- 交付金 : 約 463 万円(H28 予定)

農地維持
資源向上活動(共同)
資源向上活動(長寿命化)

当地域は、地盤が軟らかいため地盤が下がってしまい、農業用水がうまく流れずに淀んでしまうため、新川から取水した水を揚水ポンプで揚げて田んぼへかけ、その排水を再び下流の揚水ポンプで揚げて田んぼにかける方式をとっています。

そのため、揚水ポンプが多く設置され、老朽化したポンプを当事業により補修することにより揚水性能の向上が復活し、合わせて用水路の嵩上げを行うことにより、限られた用水の有効利用に取り組んでいます。



ポンプの修繕(完了)



用水路の嵩上げ

また、学校と地域社会が手をつなぎ子どもたちを育てていくため「とよだっ子未来探検隊」の子どもたちの稲作体験、魚とり、水中昆虫、ザリガニ、雑魚の捕獲と観察などを行い、体験活動に力を注いでいます。



稲作体験(田植えの様子)



魚の観察

活動の成果として、地域住民の理解も深まり活動も活発化しており、地域の絆が強まり積極的に事業が進められています。

事務局から

今回は新規組織の事務研修会の報告と活動組織のご紹介をしました。今後も活動組織の皆様の活動の手助けとなるような報告をしていきますのでよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当:酒井・大井)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>

